

事業評価シート

番号 1040640 - 001

【1.基本情報】

事業名	病院事業				
担当部名	市民病院	担当課名	病院政策課		
総合計画政策	安心できる医療環境づくりを推進します		政策コード	1 - 1 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	年度～	年度	根拠法令 関連計画※	医療法、医療介護総合確保推進法など	

【2.事業概要】

事業の目的	市民の生命を守る病院(「最後の砦」として、先進的かつ高度な医療を提供する	
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・地方公営企業法の一部適用 ・29科を標榜する総合病院 (内科、糖尿病・内分泌内科、精神科、神経内科、呼吸器・腫瘍内科、消化器内科、血液内科、循環器内科、腎臓内科、小児科、外科、乳腺外科、整形外科、脳神経外科、呼吸器外科、心臓血管外科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、リハビリテーション科、放射線科、麻酔科、病理診断科、臨床検査科、歯科、歯科口腔外科)、病床数 計609床 (うち一般病床559床、精神病床50床) ・岐阜圏域の急性期医療の中心的役割を担う (※急性期:病気を発症し急激に健康が失われた状態) ・地域の中核病院として様々な基幹的役割を担う 【主な指定医療機関】・地域医療支援病院(H19.2～ 県内初)・地域がん診療連携拠点病院(H17.1～) ・災害拠点病院(地域災害医療センター)(H23.10～)・認知症疾患医療センター(基幹型)(H29.4～)	
事業の対象	何を	高度かつ先進的な医療を
	誰に (対象者・対象者数)	治療を要する患者に
	どのくらい (具体的数値で)	適切かつ最善の医療を提供する
平成29年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・延入院患者数 175,514人(一日平均入院患者数 481人) ・延外来患者数 330,727人(一日平均外来患者数 1,355人) 	

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

(※人件費は、すべて正規職員として算出)

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	8,577,000	290,745	8,804,105	289,609	8,956,789	294,631
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	8,577,000	290,745	8,804,105	289,609	8,956,789	294,631

(2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	薬品費	4,163,344	3,414,001	3,455,385
	診療材料費	1,858,067	1,808,043	1,788,020
	委託料	1,733,778	1,757,139	1,808,018
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		10,461,900	9,682,844	9,934,102

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	19,038,900	18,486,949	18,890,891

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金	19,504	20,269	20,702
県支出金	34,530	30,233	29,283
市債			
使用料・手数料			
その他	287,599	337,214	333,103
計(F)	341,633	387,716	383,088

【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	18,697,267	18,099,233	18,507,803

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	患者	患者	患者
受益者数	578,727	553,125	506,241
受益者負担額(千円)	17,709,958	17,254,152	16,923,799
受益者負担率(%)	93.0%	93.3%	89.6%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	32,308	32,722	36,559

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	1日当たり入院患者数+1日当たり外来患者数	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	—	—	2,083
実績値	2,120	2,023	1,836

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	医療収益(税抜)	単位	百万円
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	—	—	18,059
実績値	17,672	17,215	16,887

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	市民の生命を守る病院として、先進的かつ高度な医療を提供しており、市民・社会のニーズに合っている。 公立病院として、民間では困難な高度・専門医療や救急・災害などの政策医療を提供するとともに、地域医療機関・介護・福祉と密接な連携を図っている点で市が担う必要性は高い。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	医療サービスの内容に応じた診療報酬を得ており、費用対効果はある。 民間活用の一環として業務委託を図ることで効率性を図っている。経営形態の見直しを図ることで、より効率的な事業運営が見込まれる。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	病院ごとの機能分化が進み、急性期病院としての役割を高めるため、軽症の外来患者の逆紹介を進める。今後、救急など重症患者の受入体制や地域医療機関との連携の強化をさらに進めることで、医療収益の確保を図っていく。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	医療サービスの内容に応じた診療報酬を得ており、適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	改善	・地域における中核病院としての役割を担っており、必要な事業である。 ・市民病院の経営状況や医療環境の変化に対し、今後も安定経営のもとで、必要な医療を継続して提供するためには、病院が主体性をもって迅速かつ機動的な運営が可能な体制を整備することが必要である。

事業評価シート

番号 | 1040640 - 003

【1.基本情報】

事業名	託児所事業				
担当部名	市民病院	担当課名	病院政策課		
総合計画政策	安心できる医療環境づくりを推進します		政策コード	1 - 1 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	年度～	年度	根拠法令 関連計画※	児童福祉法、 児童福祉施設の設備及び運営に関する基準	

【2.事業概要】

事業の目的	市民病院勤務職員の子どもを保育する				
事業の内容	岐阜市民病院 託児所 子どもの保育にあたる保護者が市民病院で勤務することにより、家庭で保育することが出来ない子どもを保育する				
事業の対象	何を	保育サービスを			
	誰に (対象者・対象者数)	病院職員が養育する生後57日～小学校就学前までの乳幼児に			
	どのくらい (具体的 数値で)	保育時間:通常保育 7:45～18:00(月～土曜日)、延長保育 18:00～20:00(希望者) 夜間保育 20:00～翌日7:45 (毎週水曜日、希望者)			
平成29年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者(月平均)…26.8人 ・利用した職員数(通常・短期)…年間46人 ・延長保育利用者(月平均)… 6.7人(利用回数11.9回) ・夜間保育利用者(月平均)… 1.3人(利用回数 3.1回) 				

【3.支出(行政コスト)】

(1)人にかかるコスト

(※人件費は、すべて正規職員として算出)

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	31,455	1,066	34,683	1,141	33,736	1,110
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	31,455	1,066	34,683	1,141	33,736	1,110

(2)物にかかるコスト

直接経費 【直接事業費】 (B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
		3,130	2,833	2,866
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	給食材料費	1,251	1,351	1,355
	光熱水費	511	502	564
減価償却費 【施設管理】※ (C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		3,130	2,833	2,866

(3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	34,585	37,516	36,602

【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金	1,284	1,951	2,221
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	1,284	1,951	2,221

【5.収支】

市負担額一般 財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	33,301	35,565	34,381

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	児童とその保護者	児童とその保護者	児童とその保護者
受益者数	22	24	27
受益者負担額(千円)	6,507	7,562	7,630
受益者負担率(%)	18.8%	20.2%	20.8%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	1,513,682	1,481,875	1,273,370

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	利用児童数(月平均)	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	—	—	—
実績値	22	24	27

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	年間利用職員数(通常・短期)	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	—	—	—
実績値	31	37	46

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	子育てしながら働く市民病院職員をサポートするために必要である。 市民病院に至近であること、保育時間等の条件が病院職員の勤務形態に対応している点から必要性が高い。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	病院職員の安定確保が図られるなどの費用対効果がある。 なし
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	平成29年度の託児所利用児童数27人(月平均)、利用した職員数46人(うち医師5人)であり、近年増加傾向にある。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	利用頻度、時間帯等の条件に応じた保育料を得ており、適正である。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	・子育てしながら働く病院職員をサポートするために必要な事業である。